

日本マンガ史Ⅱ

科目ナンバリング ARL-206

選択 2単位

萩原 由加里

1. 授業の概要(ねらい)

終戦後から現代へと至るマンガの歴史を取り上げることで、現代のマンガがこのような現状に至った理由を考えていきます。漫画がマンガと表記されるようになり、さらに海外でも評価されるようになった要因についても取り上げていきます。

2. 授業の到達目標

- 1、戦後から現代まで至る歴史を理解することで、日本のマンガの特徴について理解する能力を身につける。
- 2、戦前と戦後の日本マンガの大きな変化を比較することで、戦後の日本社会の在り方について考える力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

試験50%、平常点(小レポート)50%

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書:なし

参考文献

清水勲 『年表日本漫画史』(2007) 臨川書店

5. 準備学修の内容

毎回の授業で、次回に取り上げる時代とテーマを紹介するので、その時代の社会的・政治的な出来事を図書館やネットを使って調べ、時代背景を把握したうえで授業に臨むこと。

6. その他履修上の注意事項

積極的な質問を期待します。

7. 授業内容

- 【第1回】 マンガとは?
- 【第2回】 手塚治虫と赤本マンガ
- 【第3回】 長谷川町子 ー女性漫画家の登場
- 【第4回】 絵物語とSFブーム
- 【第5回】 月刊少年マンガ誌の創刊
- 【第6回】 劇画の創生期
- 【第7回】 少女マンガの誕生
- 【第8回】 『マガジン』と『サンデー』 ー週刊少年マンガ雑誌の創刊
- 【第9回】 『ガロ』の登場がもたらした衝撃
- 【第10回】 『週刊少年ジャンプ』創刊までの道筋
- 【第11回】 花の24年組の登場
- 【第12回】 アマチュア・マンガ ーコミケの誕生
- 【第13回】 ジャンプの全盛期
- 【第14回】 2次元から2.5次元&3次元へ
- 【第15回】 マンガからMANGAへ